

ホリスメール むなかた

編集/発行
宗像警察署総務課
【連絡先】
TEL36-0110



福岡県から飲酒運転をなくしましょう！

福岡県内の飲酒運転事故の発生状況

平成27年中 156件(前年比 +3件)全国ワースト8位
平成28年5月末現在 67件(前年同期比 +5件)

※ 4月末現在全国ワースト6位

未だに多量の飲酒で交通事故を起こす悪質な運転者が後を絶たず、県民の皆さんの願いである「飲酒運転撲滅には程遠い状況です。」

飲酒運転撲滅のために

飲酒運転の車
を見かけました！



毎月25日は「飲酒運転撲滅の日」

- ◎ 家族や職場の同僚などへの飲酒運転防止の呼び掛けや飲酒運転撲滅キャンペーンへ参加するなど飲酒運転撲滅に取り組みましょう。
- ◎ ふらつきながら走る車両を見かけたり、酒に酔った様子の人が車に乗り込もうとするのを見たりしたときは、110番通報してください。

「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」 そして「見逃さない」

お酒は、なかなか抜けません。二日酔い運転にも注意！



体重60kgの人の
アルコール処理時間

約4時間

ポリスメール **むなかた**編集/発行
宗像警察署総務課
【連絡先】
Tel.36-0110**水難事故を防ぎましょう！**

水難事故は、6月～8月に集中して発生！！

**水難事故防止のための5原則**

- ① 危険箇所の把握
転落のおそれや水流が激しい場所などの危険箇所を把握する。
- ② ライフジャケットの活用
体のサイズに合ったライフジャケットを正しく着用する。
- ③ 状況の的確な判断
天候や体調が悪いとき、飲酒したときなどには、水泳などを行わない。
- ④ 保護者などの付き添い
子どもを水遊びさせるときは、保護者などが付き添い、絶対に目を離さない。
- ⑤ 子どもに対する水難事故防止のための指導
「危険区域内に入らない。」、「遊泳区域外で泳がない。」
「泳いでいるとき、他人に抱きつくなどの危険な行為をしない。」
「水深、水流を考えて、安全な方法で泳ぐ。」ことを指導する。

